

(一社) 日本印刷学会 第17回紙メディアシンポジウム

「紙メディアとデジタルの融合 ～新しい付加価値の創造～」

高度化するICTにより生まれた「デジタルマーケティング」、「ブロックチェーン技術」等の技術革新により、メディアとしての紙はその形態や付加価値において、加速度的に多様化が進んでいる。特に9月のデジタル庁の発足をきっかけとしてデジタルの状況は大きく変化しつつあり、従来型の紙メディアの存在意義や価値を改めて見つめ直すとともに、未来型の紙メディアについて我々は思考せざるを得ない状況になっている。

今回は紙メディアと電子メディアを対立させた構図というよりも、その融合に焦点を当て、未来志向の考え方の一助となりえる非常にユニークな企画です。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日時： 2021年11月29日(月) 13:00～17:00

会場： ZOOM ウェビナー

主催： (一社) 日本印刷学会 紙メディア研究委員会

プログラム

13:05 - 13:55 **1. 紙媒体が消費者行動に及ぼす影響～心理的要因に注目して～**
近年、広告やダイレクトメールなどにおけるコミュニケーション効果において、デジタルメディアよりも紙媒体が消費者の反応を引き出しやすいという研究結果が報告されている。本発表では、紙媒体によるメッセージが消費者行動にもたらす影響を心理的要因からアプローチした産学連携研究の実証実験について紹介する。

早稲田大学 商学大学院 助手 権 純鏡

14:00 - 14:50 **2. デジタルの成熟で目的が変わるフィジカル（紙）メディア**
デジタルという手段を友好的に受け入れることで価値を高めるフィジカル（紙）メディアとは？ このセッションでは、テクノロジーと融合した印刷サービスを活用するユーザーの変化を事例に、未来のフィジカルメディアやサービスに期待される要素とは？を考察する。

株式会社グーフ 代表取締役 エバンジェリスト 岡本 幸憲

15:00 - 15:50 **3. 「実体」を伴う紙メディアの付加価値の考察**
紙メディアは芸術や嗜好品を始めとして、様々な情報や価値の保存を担ってきた。紙メディアが保存する価値は依然として大きな意味を持つが、近年急速にデジタル化が進む中で、様々な情報がデジタルデータとして価値を得ている。ここでは、紙メディアの付加価値について事例を紹介し、多様化する「価値」について考察する。

独立行政法人国立印刷局 研究所 製品技術研究部 研究員 新免 浩太郎

15:55 - 16:45 **4. マンガを「アート」にする紙・印刷・NFT 技術**
集英社は2021年3月に、マンガのプリントをアートとして世界販売する事業をスタートした。コットン100%の紙に耐光性のあるカラーインクジェットプリントを行うシリーズに加え、1960年代製の活版平台印刷機でモノクロプリントを行うシリーズを展開。ブロックチェーン技術を利用したNFT証明書と紐づけることで価値づける、新しい事例を紹介する。

株式会社集英社 デジタル事業部次長 兼 デジタル企画課課長 岡本 正史

定員： 120名

申込締切： 2021年11月19日(金)

参加費： 個人会員・協賛会員=5,000円、教職員・学生・シニア=3,000円、非会員：7,000円(全て税込み)

申込方法： 日本印刷学会ホームページにて詳細参照 ①申込 ②指定口座への参加費振り込み

参加案内： 参加費の振り込み確認後に、参加確認メール

連絡先： (一社) 日本印刷学会 事務局

〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8

電話： 03-3551-1808 F A X： 03-3552-7206 E-mail： nijspst-h@jpsst.org 以上